

重点目標

反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止

- 反射材用品、LEDライトや明るい目立つ色の服装などで、運転者に早めに自分の存在を知らせ、事故を防止しましょう。
- 横断歩道を渡る、信号機のあるところではその信号に従うなど、交通ルールを守りましょう。
- 道路を横断するときは、運転者に手と目で合図をしましょう。



夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶

- 早めのライト点灯と夜間における対向車や先行車がない場合でのハイビームの活用で事故を防止しましょう。
- 歩行者優先を意識し、歩行者や他の車両に対して思いやり・ゆずり合いの気持ちを持って運転しましょう。
- 妨害運転（あおり運転）などの危険な運転はやめましょう。
- 飲酒運転は「絶対禁止」です。
- 全ての座席でシートベルトを着用しましょう。

自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

- 自転車や電動キックボード等に乗るときはヘルメットを着用しましょう。
- 万が一に備え、損害賠償責任保険等に加入しましょう。
- 交通ルールを守って安全に運転しましょう。
- 傘差しやスマートフォン使用による片手運転、イヤホンの使用など、危険な「ながら運転」はやめましょう。



自転車安全利用五則

- ①車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③夜間はライトを点灯
- ④飲酒運転は禁止
- ⑤ヘルメットを着用

横断歩行者優先の徹底

- 横断歩道での歩行者優先は「交通ルール」です。歩行者が横断しているときや横断しようとしているときは、必ず止まりましょう。
- 「ダイヤモンド」の先には横断歩道があります。歩行者に注意しましょう。



運転中のスマートフォン等使用禁止の徹底

- 運転中にスマートフォンを手に持ち通話したり、画面を注視する「ながら運転」は大変危険です。絶対にやめましょう。

スピードダウンの励行

- スピードの出し過ぎは、重大事故につながります。心と時間にゆとりをもって、安全な速度で運転しましょう。

自転車の安全利用とヘルメット着用に向けた理解の促進

- 他の歩行者や車両への迷惑にならない運転を心がけましょう。
- 用水路等への転落事故に気をつけましょう。
- 自転車のヘルメット非着用時は、着用時と比べて事故での致死率が高くなります。命を守るため、ヘルメットを着用しましょう。
- 保護者の方は、小学生以下のお子さんが自転車に乗る場合にはヘルメットを着用させましょう。